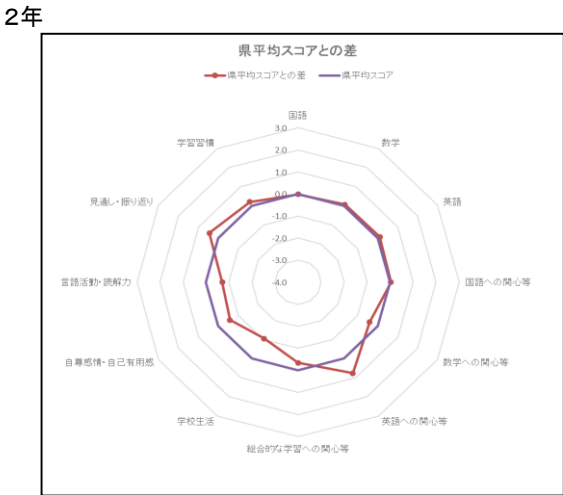
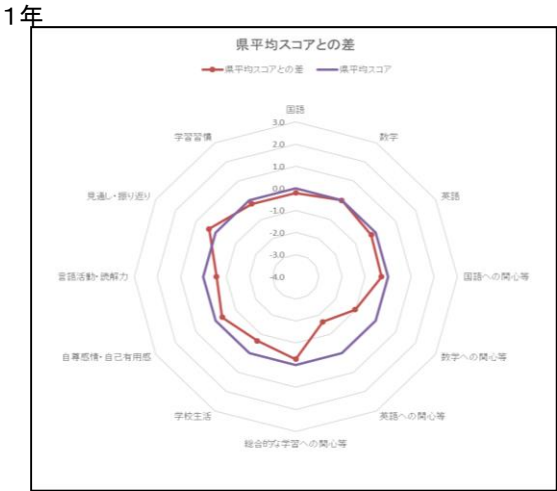


令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立八雲中学校)

(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○: 成果、●: 課題)	対策
1年	国語	○中1配当漢字の読みと書きはよい。 ○「書く」や記述式の問題は県の平均正答率に近い。特に文章の構成を考えて書くことは県平均より高い。 ●「根拠を明確にして文章の内容をとらえる」「場面の展開に注意して読み、人物の心情をとらえる」「資料で述べられている事実と意見を関連付けて考える」問題をはじめとする「話す・聞く」問題の正答率が低い。	・成果のあった漢字学習、自分の考えを書く学習を今後も継続する。 ・事実や根拠と意見や考え・心情を関連付けて読み取る場面を授業の中で意識的に設定する。
	数学	○数と式の領域および見方・考え方、技能の観点の県平均を上回っている。練習の成果だと思われる。 ●関数の領域および図形や関数についての知識、理解の観点が低い。知識の定着や理解の甘さがある。	・関数、図形の領域に対して、数と式での取組を、他の領域にも生かして練習する。知識や理解を深めるために、見る聞くだけでなく説明できるような学習を取り入れる。
	英語	○「聞く」領域の情報を正確に聞き取ったり、概要や要点を適切に聞き取ったりする問題は正答率が高い。 ○「読む」領域では、県の正答率を上回る問題が複数ある。 ●「聞く」領域の質問や依頼などを聞いて適切に応じる問題や「書く」領域の問題では、県の正答率を下回っているものが多い。	・学習した語彙や表現を会話の中で活用する言語活動をさらに充実させ、生徒がきちんと話したり書いたりして表現できるように指導していく。
2年	国語	○国語への関心・平均正答率は県平均程度。 ○「品詞」「抽象的な概念を表す語句」について平均正答率が高い。 ●資料などを効果的に活用して話すこと(話す・書く領域)について平均正答率が低い。	・今年度重点的に取り組んだ語句に関する指導を継続する。 ・資料から必要な情報を取り出す学習場面を設定する。(例: 図書館にて資料を探す、取り出す、まとめる)
	数学	○基本的な式の計算を的確に行うことができる。 ○数学への関心等は昨年度に比べ県平均との差が小さくなった。 ●関数、資料の活用の領域の正答率が低い。 ●正答率にかかわらず、全体的に無解答率が高い。	・小テストなどを通して、繰り返し既習事項の確認を行う。 ・数学に対して苦手意識のある生徒には、グループ学習を通じて問題の解き方や説明の仕方を交流させ、粘り強く取り組めるようにする。
	英語	○「聞く」「読む」「書く」の3領域とも県平均正答率とほぼ同じであった。特に「聞く」領域は県を上回る正答率であった。 ●「聞く」「書く」領域の記述式の設問の無回答率が高い。 ●「書く」領域において、「対話の流れをふまえて適切な英文を書く」問題の平均正答率が県平均より低いものが多い。	・「やりとり」の活動などを通して、会話の流れの中で適切な応答ができるように指導していく。また、「書く」活動においても、前後のつながりを考えた構成を意識させて活動を行っていく。

(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
1年生	本校	64	49	58
	松江市	69	52	64
	島根県	68	49	62

受検者数
1年生 52 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○: 成果、●: 課題)	対策
1年	授業改善に関わる事項	○授業では学習規律をきちんと守ったり目標とふりかえりをノートに書いたりしている。 ●グループで調べ学習をしたり自分の考えを発表したりする機会が少ない。	・グループで調べたり、自分の考えを人前で発表したりする機会を授業の中で積極的に設ける。
	家庭学習に関わる事項	○「家で誰かに言われなくても自分から勉強している」「授業の予習をしている」に肯定的である。 ●塾なども含めて家庭学習の時間が県平均より少ない。 ●授業の宿題や復習をする割合が県平均より低い。	・毎日宿題として自学ノートを提出しているが、家ではなく学校で済ませている生徒に家で学習するように指導を継続する。
2年	授業改善に関わる事項	○「授業では学習規律がきちんと守られている、自分の考えを発表する機会を与えられていると思う」「授業の中で目標が示されていると思う」について肯定的な回答が多い。 ●「授業でグループで調べ学習をよくしている」「授業で話し合う活動をよく行っている」について肯定的な回答が県平均より少ない。	・「学校図書館を使って授業をするのは好きだ」と回答している生徒も多く、学校図書館を利用して、グループで調べ学習を行う機会をできる限り設ける。 ・授業の中で話し合う場面を積極的に設定する。
	家庭学習に関わる事項	○家庭学習の時間が1時間以上の生徒の割合が県平均よりも高い。 ●家で復習している生徒の割合が県平均より低い。	・復習の習慣を定着できるよう、月曜から金曜まで計画表をもとに入試対策のテキスト学習を実施する。 ・各教科でも復習を励行する。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果

